

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

インドネシア検疫庁

2025年インドネシア検疫庁長官令第2314号

日本産植物由来生鮮食品の安全管理のための検査機関登録に係る決定について
神の偉大な恵みによって
インドネシア検疫庁長官

以下を考慮する

- a. 植物由来生鮮食品 (PSAT) の輸入に対する食品安全管理は、検疫措置と一体的に実施されるため、原産国における検査機関での検査が義務付けられる。
- b. 植物由来生鮮食品の安全検査機関の評価結果に基づき、日本国は既に指定されるための要件を満たしている。
- c. a、b項で述べられた考慮事項に基づき、日本産植物由来生鮮食品の安全管理のための検査機関登録に係る決定に関するインドネシア検疫庁長官令を定める必要がある。

以下を踏まえる

1. 食品に関する2012年法律第18号 (2012年インドネシア共和国官報第227号、インドネシア共和国追加官報第5360号)
2. 動物、魚類、植物検疫に関する2019年法律第21号 (2019年インドネシア共和国官報第200号、インドネシア共和国追加官報第6411号)
3. 食品安全に関する2019年政府法第86号 (2019年インドネシア共和国官報第249号、インドネシア共和国追加官報第6442号)
4. 動物、魚類、植物検疫に関する2019年法律第21号の実施規則に関する2023年政府法第29号 (2023年インドネシア共和国官報第73号、インドネシア共和国追加官報第6878号)
5. インドネシア検疫庁に関する2023年インドネシア共和国大統領規則第45号 (2023年インドネシア共和国官報第97号)
6. インドネシア検疫庁の幹部任命に関する2023年インドネシア共和国大統領令第117号/TPA
7. インドネシア検疫庁の組織及び業務運営に関する2023年インドネシア共和国検疫庁規則第1号 (2023年インドネシア共和国官報第842号)
8. インドネシア検疫庁の技術実施ユニットの組織及び業務運営に関する2023年インドネシア共和国検疫庁規則第2号 (2023年インドネシア共和国官報第843号)
9. 検疫対象動物の害虫及び疾病、検疫対象魚類の害虫及び疾病、並びに検疫対象植物の害虫の媒介物の搬入及び搬出場所に関する2024年インドネシア共和国検疫庁規則第3号 (2024年インドネシア共和国官報第122号)

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

以下を考慮する：2024年12月19日付日本産植物由来生鮮食品安全検査機関登録延長申請書

以下を決定する：

以下を定める：日本産植物由来生鮮食品の安全管理のための検査機関登録に係る決定についてのインドネシア検疫庁長官令

第一

インドネシア共和国領内に輸入される日本産植物由来生鮮食品（PSAT）の分析証明書（*Certificate of Analysis*）を発行する権限を有するPSAT安全検査機関として、日本産植物由来生鮮食品（PSAT）安全検査機関の登録を決定する。

第二

第一で記されているPSAT安全検査機関リストは、本長官令の不可分の一部である添付1に記載されている。

第三

登録検査機関に関するデータ（認定状況、住所等）、生産国で使用されている又は禁止されている農薬データに変更があった場合、日本の食品安全管轄当局（OKKP）は、速やかにその情報をインドネシア検疫庁に提出する義務がある。

第四

第一で記されているPSAT安全検査機関によって日本で検査されなければならないPSATの種類及び化学的・生物学的汚染物質は、本長官令の不可分の一部である添付2に記載されている。

第五

本長官令は、制定日に発効する。

2025年6月30日にジャカルタにて制定された。

インドネシア検疫庁長官



サハト・マナオール・パンガビーン

この長官令の写しは以下に送付される。

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

1. インドネシア ジャカルタの日本大使
2. 日本のインドネシア大使
3. インドネシア検疫庁エシユロンI職員
4. インドネシア検疫庁技術実施ユニット長

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

添付 1

2025 年インドネシア検疫庁長官令第 2314 号

日本産植物由来生鮮食品の安全管理のための検査機関登録に係る決定について

日本産植物由来生鮮食品安全検査機関登録リスト

No.	登録番号	検査機関名	住所及びEメール	検査範囲	登録有効期間
1.	検査機関登録番号 01/JPN/2025	日本食品分析センター	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52-1 Eメール：Mr. Tatsuya SUNAMI sunamit@jfri.or.jp ウェブサイト：https://www.jfri.or.jp/english	残留農薬 重金属 カビ毒 微生物	登録から3年
2.	検査機関登録番号 02/JPN/2025	東京顕微鏡院 (食と環境の科学センター)	〒104-0055 東京都中央区豊海町5-1 豊海センタービル Eメール： Mr. Kazuyuki HASHIZUME k_hashizume@kenko-kenbi.or.jp ウェブサイト：https://www.kenko-kenbi.or.jp/	残留農薬 重金属 カビ毒 微生物	登録から3年

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

No.	登録番号	検査機関名	住所及びEメール	検査範囲	登録有効期間
3.	検査機関登録番号 03/JPN/2025	日本食品検査 (首都圏事業所)	〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレビル Eメール： Mr. Hiroki AIZAWA h_aizawa@jffic.or.jp ウェブサイト： https://www.jffic.or.jp/	カビ毒 微生物	登録から3年
4.	検査機関登録番号 04/JPN/2025	日本食品検査 (関西事業所)	〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町3-2-6 Eメール： Mr. Atsushi HATTA a_hatta@jffic.or.jp ウェブサイト： https://www.jffic.or.jp/	重金属	登録から3年
5.	検査機関登録番号 05/JPN/2025	食品環境検査協会	東京都江東区新木場2丁目10-3 Eメール： Mr. Yoshiyasu_TAJIMA yoshiyasu_tajima@jiafe.or.jp Mr. Yuichi_ONODERA yuichi_onodera@jiafe.or.jp ウェブサイト： https://www.jiafe.or.jp/	残留農薬 重金属	登録から3年

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

No.	登録番号	検査機関名	住所及びEメール	検査範囲	登録有効期間
6.	検査機関登録番号 06/JPN/2025	新日本検定協会 (SK横浜分析センター、SK阪神分析センター)	本部 〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル TEL : 81-3-3449-2611 FAX : 81-3-3449-2636 Eメール : Mr. Nakashima Akira nakira@shinken.or.jp ウェブサイト : https://www.shinken.or.jp	残留農薬 重金属 カビ毒	登録から3年
7.	検査機関登録番号 07/JPN/2025	日本穀物検定協会	中央研究所及び東京分析センター 東京都中央区日本橋兜町15-6 Eメール : Mr. Masanori FUJIMOTO rencho-hed@kokken.or.jp ウェブサイト : https://www.kokken.or.jp	残留農薬 重金属 カビ毒	登録から3年

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

No.	登録番号	検査機関名	住所及びEメール	検査範囲	登録有効期間
8.	検査機関登録番号 08/JPN/2025	食品分析開発センター SUNATEC	〒510-0825 三重県四日市市赤堀新町9-5 TEL : +81-59-354-1552 FAX : +81-59-351-0630 メール : Mr. Toshinari SATO tosato@mac.or.jp ウェブサイト : http://www.mac.or.jp	残留農薬 重金属 微生物	登録から3年
9.	検査機関登録番号 09/JPN/2025	日本油料検査協会	本部 〒658-0044神戸市東灘区御影塚町1丁目2-15 TEL : (078)841-4990 FAX : (078) 841-5114 横浜支部 〒232-0073 横浜市南区永田南1-2-34 TEL : (045) 722-3609 FAX : (045) 722-3640 Eメール : Mr. Shinji TERAZAWA terazawa2047@nykk.or.jp	残留農薬 重金属	登録から3年

インドネシア検疫庁長官

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。



サハト・マナオール・パンガビーン

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

添付 2

2025 年インドネシア検疫庁長官令第 2314 号

日本産植物由来生鮮食品の安全管理のための検査機関登録に係る決定について

日本産植物由来生鮮食品の種類と残留農薬等物質

番号	植物由来生鮮食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
1.	ぶどう	アセタミプリド	0.5			鉛(Pb)	0.2	大腸菌	<20/g
		アメトクトラジン	6					サルモネラ菌	陰性/25g
		アゾキシストロビン	2						
		ビフェナゼート	0.7						
		ボスカリド	5						
		ブプロフェジン	1						
		キャプタン	25						
		クロロタロニル	3						
		クロチアニジン	0.7						
		シペルメトリン (アルファとゼータシペ ルメトリンを含む)	0.2						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		シプロジニル	3						
		デルタメトリン	0.2						
		ジメトモルフ	2						
		ジノテフラン	0.9						
		ディシアノン	3						
		エテフォン	1						
		エトキサゾール	0.5						
		フェンブコナゾール	1						
		フェンヘキサミド	15						
		フェンプロパトリン	5						
		フルベンジアミド	2						
		フルジオキシニル	2						
		フルオピコリド	2						
		フルオピラム	2						
		グルホシネートアンモニ ウム	0.15						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		ヘキシチアゾックス	1						
		イミダクロプリド	1						
		イプロジオン	10						
		クレソキシムーメチル	1						
		マラチオン	5						
		マンディプロパミド	2						
		メタラキシル	1						
		ペルメトリン	2						
		プロパルギット	7						
		ピラクロストロビン	2						
		スピネトラム	0.3						
		スピロジクロフェン	0.2						
		スピロテトラマト	2						
		スルホキサフロール	2						
		テブコナゾール	6						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		テブフェノジド	2						
		トリフロキシストロビン	3						
2.	りんご	ボスカリド	2			鉛(Pb)	0.1	大腸菌	<20/g
		ブプロフェジン	3					サルモネラ菌	陰性/25g
		シフルトリン/ベータ-シフルトリン	0.1						
		シプロジニル	0.05						
		デルタメトリン	0.2						
		エトフェンプロックス	0.6						
		フェニトロチオン	0.5						
		イミダクロプリド	0.5						
		マラチオン	0.5						
		プロパルギット	3						
		ピラクロストロビン	0.5						
		スピノサド	0.1						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		テブコナゾール	1						
3.	ネクタリン	ブプロフェジン	9			鉛(Pb)	0.1	大腸菌	<20/g
		デルタメトリン	0. 05					サルモネラ菌	陰性/25g
		ジフェノコナゾール	0.5						
		イミダクロプリド	0.5						
		ピラクロストロビン	0.3						
		スピネトラム	0.3						
		テブコナゾール	2						
		テブフェノジド	0.5						
4.	桃	アセタミプリド	0.7			鉛(Pb)	0.1	大腸菌	<20/g
		ブプロフェジン	9					サルモネラ菌	陰性/25g
		キャプタン	20						
		クロロタロニル	0.2						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		クロルピリホス	0.5						
		シハロトリン(ラムダ-シ ハロトリンを含む)	0.5						
		デルタメトリン	0.05						
		ダイアジノン	0.2						
		ジフェノコナゾール	0.5						
		ジフルベズロン	0.5						
		ジノテフラン	0.8						
		エトフェンプロックス	0.6						
		フェンブコナゾール	0.5						
		フェンヘキサミド	10						
		フルオピラム	0.4						
		イミダクロプリド	0.5						
		イプロジオン	10						
		ピラクロストロビン	0.3						
		スピネトラム	0.3						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		テブコナゾール	2						
		テブフェノジド	0.5						
		トリフォリン	5						
5.	梨	ブプロフェジン	6			鉛(Pb)	0.1	大腸菌	<20/g
		シフルトリン/ベータシフルトリン	0.1					サルモネラ菌	陰性/25g
		シプロジニル	1						
		エトフェンプロックス	0.6						
		イミダクロプリド	1						
6.	a.たまねぎ	アセタミプリド	0.02			カドミウム (Cd)	0.05		
		アメトクトラジン	1.5			鉛(Pb)	0.1		
		ベンタゾン	0.1						
		クロロタロニル	0.5						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (µg/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		クロルピリホス	0.2						
		クレトディム	0.5						
		シペルメトリン (アルファとゼータ-シペルメトリンを含む)	0.01						
		シプロジニル	0.3						
		デルタメトリン	0.05						
		ダイアジノン	0.05						
		ディメテナミド-P	0.01						
		フルジオキシニル	0.5						
		フルオピコリド	1						
		フォルペット	1						
		マラチオン	1						
		マンディプロパミド	0.1						
		メタラキシル	2						
		メソミル	0.2						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (µg/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		ペンチオピラド	0.7						
		ピラクロストロビン	1.5						
		スピネトラム	0.01						
		テブコナゾール	0.1						
	b.ねぎ	アセタミプリド	5			カドミウム (Cd)	0.05		
		アメトクトラジン	20			鉛(Pb)	0.1		
		クロロタロニル	10						
		シロマジン	3						
		ダイアジノン	1						
		マラチオン	5						
		マンディプロパミド	7						
		ペンチオピラド	4						
		ピラクロストロビン	1.5						
スピネトラム	0.8								

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (µg/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
7.	a.唐辛子	ブプロフェジン	10			カドミウム (Cd)	0.05		
		スピロテトラマト	2			鉛(Pb)	0.1		
	b.唐辛子(乾燥)	アセタミプリド	2			カドミウム (Cd)	0.05		
		アゾキシストロビン	30			鉛(Pb)	0.1		
		ボスカリド	10						
		ブプロフェジン	10						
		クロラントラニリプロール	5						
		クロチアニジン	0.5						
		ダイアジノン	0.5						
		ジノテフラン	5						
		エマメクチン安息香酸	0.2						
		フェナリモル	5						
		フェンプロパトリン	10						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC ($\mu\text{g}/\text{kg}$)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		フェンピロキシメート	1						
		フルベンジアミド	7						
		イミダクロプリド	10						
		メタラキシル	10						
		メトキシフェノジド	20						
		ペンチオピラド	14						
		ピリミカルブ	20						
		スピノサド	3						
		スピロテトラマト	15						
		チアメトキサム	7						
8.	きのこ	シロマジン	7			カドミニウム (Cd)	0.05		
		ジフルベンズロン	0.3			鉛(Pb)	0.1		
9.	白菜								
	a.チンゲン菜	メタフルミゾン	6			カドミニウム	0.2		

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (µg/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
						(Cd)			
						鉛(Pb)	0.3		
	b. 白菜	ダイアジノン	0.05			カドミウム (Cd)	0.2		
		ペルメトリン	5			鉛(Pb)	0.3		
10.	ラディッシュ								
	a. ラディッシュ	ダイアジノン	0.1			カドミウム (Cd)	0.1		
						鉛(Pb)	0.1		
	b. 大根	ペルメトリン	0.1			カドミウム (Cd)	0.1		
						鉛(Pb)	0.1		
11.	レタス								

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
	a.レタス	アゾキシストロビン	3			カドミウム (Cd)	0.2	大腸菌	<3/g
		ダイアジノン	0.5			鉛(Pb)	0.3	サルモネラ菌	陰性/25 g
		ジメトモルフ	10						
		エマメクチン安息香酸塩	1						
		イミダクロプリド	2						
		インドキサカルブ	7						
		イプロジオン	10						
		メタフルミゾン	7						
		メタラキシル	2						
		メソミル	0.2						
		メトキシフェノジド	15						
		ペルメトリン	2						
		プロパモカルブ	100						
		ピラクロストロビン	2						
スピネトラム	10								

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (µg/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		トルクロフォスメチル	2						
	b.レタス、葉	アゾキシストロビン	3			カドミウム (Cd)	0.2	大腸菌	<3/g
		ダイアジノン	0.5			鉛(Pb)	0.3	サルモネラ菌	陰性/25 g
		エマメクチン安息香酸塩	1						
		メソミル	0.2						
		メトキシフェノジド	30						
		ピリミカルブ	5						
		プロパモカルブ	100						
		スピネトラム	10						
		トルクロフォスメチル	2						
12.	米								
a.米	アゾキシストロビン	5	オクラトキシン A	5	カドミウム (Cd)	0.1			
	ベンタゾン	0.1			鉛(Pb)	0.2			

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (µg/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		クロチアニジン	0.5						
		ジノテフラン	8						
		ジクワット	10						
		エトフェンプロックス	0.01						
		フィプロニル	0.01						
		パラコート	0.05						
		テブコナゾール	1.5						
		チアクロプリド	0.02						
	b.玄米	2,4D	0.1	オクラトキシン A	5	カドミニウム (Cd)	0.1		
		ジクワット	1			鉛(Pb)	0.2		
		フルトラニル	2						
	c.精米	クロルデン	0.02			カドミニウム (Cd)	0.4		

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (µg/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		ジノテフラン	0.3			鉛(Pb)	0.2		
		ジクワット	0.2						
		フルトラニル	1						
13.	アーモンド	クロルデン	0.02	アフラトキシン B1	15				
				アフラトキシン 合計	20				
14.	緑茶・紅茶	ビフェントリン	30			カドミウム (Cd)	0.03		
		クロルピリホス	2			鉛(Pb)	2		
		クロチアニジン	0.7						
		シペルメトリン (アルファ とゼータ-シペルメト リンを含む)	15						
		デルタメトリン	5						

(仮 訳)

本仮訳は参考であるため、正確な記述は原文を御参照ください。

番号	植物由来生鮮 食品の種類	残留農薬		カビ毒		重金属		微生物	
		有効成分	BMR (mg/kg)	種類	BMC (μ g/kg)	種類	BMC (mg/kg)	種類	BMC
		エトキサゾール	15						
		フェンプロパトリン	2						
		ヘキシチアゾクス	15						
		パラコート	0.2						
		ペルメトリン	20						
		プロパルギット	5						
		チアメトキサム	20						

インドネシア検疫庁長官



サハト・マナオール・パンガビーン